※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3010D

令和５年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	新版世界史Ａ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史事象に「なぜ」の視点を持ち、考察を行う。
・諸地域の民族・王朝・文化の特色や発展の過程を諸資料から読み取る。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結びつけ、歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	近現代を中心とする世界の歴史から課題を見出し、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追及する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	近現代史を中心とする世界の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・授業中の取り組み ・ワークノート ・プリント課題 ・定期考査	・授業中の取り組み ・ワークノート ・プリント課題 ・定期考査	・授業中の取り組み ・ワークノート ・プリント課題 ・定期考査	・発問評価 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ユーラシアの諸文明の特質	・西アジア・イスラーム世界 ・ヨーロッパ世界 ・南アジア・東南アジア ・東アジア・内陸アジア	○ ○	 ○ ○ 	○ ○	○ ○ ○ ○	a:自然環境と歴史のつながりを意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:諸地域の政治および文化に関して、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 諸地域の政治および文化に関して、考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 諸地域の政治および文化に関して、地理的条件や経済的ネットワークと関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査
1学期	ユーラシアの交流	・陸と海の交流 ・ヨーロッパの商業圏とモンゴル帝国	○ ○	○	○ ○	○	a:諸地域のネットワークがどのように発達して行ったかを確認し、積極的に学びを得ようとしている。 b:交易路や商業圏をめぐり、諸勢力がどのように動いたかを、政治的および経済的視点から考察している。 c: 草原の道、絹の道、海の道の三つの交易路が通る諸地域に関して、考察に必要な地図や諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りが行える。 d:各交易路に存在した諸勢力の変遷や商業圏の変容に関して、基本的な知識が身についている。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査

※令和３年度以前入学生用

1学期	一体化に向かう世界	・世界の一体化の第一歩 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制	○ ○	○	○ ○	 ○ ○	a: 新航路の開拓や征服活動、ルネサンス、宗教改革の背景と影響を、関心を持って学習しようとしている。 b: 新航路の開拓・ルネサンス・宗教改革がもたらした影響を判断・考察し、文章にまとめる。 c: 地図や諸資料を適切に用い、大航海の展開、ルネサンス・宗教改革や、その影響について説明できる。 d: ルネサンスにおける具体的な文芸・芸術、宗教改革の拡大、ヨーロッパ諸国が主権国家体制を確立していった過程について、基本的な知識を身につけている。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査
1学期	アジアの繁栄と世界	・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成	○	 ○	 ○	○ ○	a:明、清、東南アジア、イスラーム世界の展開による世界の交流を意欲的に学習しようとしている。 b:明や清といった中華帝国と周辺諸地域との関係性の変化を、東南アジアの状況やヨーロッパ勢力の活動と関連付けて考察する。 c: 地図や諸資料を適切に用い、明、清の中華帝国やオスマン帝国などの形成を背景に展開された東西交流の内容を、地図や資料から適切に読み取れている。 d: 明、清、東南アジア、イスラーム世界の展開の中で形成された地域間ネットワークを空間的に把握し理解している。	

※令和３年度以前入学生用

２学期	１９世紀の世界の一体化と日本	・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争 ・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 ・東アジアの変容と日本の近代化	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	a:産業革命、米仏革命の展開、その影響や社会の変化、ウィーン体制によって形成された秩序とその崩壊後に登場する新たな国家や勢力について、意欲的に学習しようとする。 b: 産業革命、米仏革命の内容と影響、ウィーン体制の内容およびその崩壊によるヨーロッパ各地の変化について多角的に考察し、文章にまとめる。 c: 産業革命期の都市を描いた風刺画や米仏革命の中で出された宣言から各革命の後世への影響を読み取る。 d: 産業革命、フランス革命、ウィーン体制や自由主義の台頭、各国の政治的変化や新しい思想について基本的な知識を獲得 し、さらにヨーロッパ諸国 の進出とアジア・アフリカ・ラテンアメリカの従属化の状況を以後の世界史の展開と関連づけて理解している。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査

※令和３年度以前入学生用

２学期	二つの世界大戦	・激変する社会と帝国主義 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期のヨーロッパとアメリカ ・民族運動の高まり ・第二次世界大戦	 ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a:帝国主義時代の特色および世界の植民地化の展開について関心を高め、 世界大戦が人類 社会に未曾有の犠牲をもたらした原因と展開について意欲的に学習している。 b: 帝国主義時代の特色と社会的矛盾や植民地の抵抗運動、世界大戦の展開について多角的に考察し、現在の諸問題に繋がる問題点を指摘する。 c: 博物館や美術館などの植民地の抵抗運動に関する資料や世界大戦に関する写真およびデータを収集し、適切に活用している。 d: 帝国主義時代の欧米諸国の動向やその社会的特色、植民地化と植民地の抵抗、世界大戦の推移やその影響について理解し、知識を身につけている。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査
２学期	第二次世界大戦後の世界と日本	・冷たい戦争 ・アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 ・多極化の進展と冷戦体制の崩壊	○ 	○ ○	 ○ 	 ○ ○	a: 冷戦構造の形成やその変容に関心を高め、その意義を意欲的に学習している。 b: 冷戦構造の形成過程や展開を具体的に考察し、分かりやすく図示できる。 c: 冷戦に関する資料を収集し、適切に活用している。 d: 冷戦構造の形成と変容を、第三世界の連帯の動きや緊張緩和の進展と結びつけて理解している。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査

※令和３年度以前入学生用

３学期	現代の世界・持続可能な世界をめざして	・統合に向かうヨーロッパ ・アメリカ・ラテンアメリカの動向 ・西アジア・アフリカの混迷 ・南アジア・東南アジア・オセアニアの動き ・大国化する中国と東アジアの変動 ・巨大技術と人間 ・人が人らしくいきるために ・環境問題と私たち ・なおつづく紛争	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a: グローバル化の進展と、現在に残る各地域の諸問題について意欲的に学習している。 b: グローバル化の進展と技術革新が人びとの生活にあたえる影響を考察し、その功罪について文章にまとめる。 c: グローバル化の進展や、環境問題に関する資料を収集し、適切に活用している。 d: グローバル化の進展と各地域の諸問題についての基本的な知識を身につけている。	授業の態度 発問と評価 課題の提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。